

神経内科・老年科学

責任者：寺山 靖夫 教授

一般目標(GIO):

神経内科診療では、中枢神経、末梢神経、神経筋接合部そして筋に生じる種々の疾患が対象となる。脳卒中急性期を初めとする救急医療、神経変性疾患や認知症などの慢性疾患、そして、頭痛、めまいなど日常、高頻度に見られる愁訴への対応が要求される。これらの疾患に、内科、脳神経外科、精神神経科など関連する各科と関係を取りながら適切に対応できる全人的、総合的な診療能力を培うことを目指す。

行動目標(SBOs):

- * 1. 修得すべき基本姿勢・態度
 - (1) 患者の病態、心理を理解し、適切な態度で病歴聴取、診察ができる。
 - (2) 医師および看護師と十分なコミュニケーションを図ることができる。
 - (3) 仲間と協力し、チーム医療が実践できる。
- * 2. 神経内科学の理解、手技の習得
 - * (1) 適切な病歴聴取ができる。
 - * (2) 下記の神経学的所見を評価できる。
 - 1) 利き手の確認
 - 2) 意識状態の把握
 - 3) 項部硬直の有無
 - 4) 言語の評価
 - 5) 脳神経の評価
 - 6) 小脳症状の評価
 - 7) 骨格・姿勢・不随意運動の評価
 - 8) 筋力・筋緊張の評価
 - 9) 知覚の評価
 - 10) 反射(深部腱反射・病的反射)の評価
 - 11) 歩行・起立の評価
 - * (3) 病歴および現症から局在診断、鑑別診断を考えるプロセスを修得する。
 - * (4) 診断確定(病変の局在と病理)のための検査計画を策定できる。
 - (5) 主な神経学的検査法を理解し、その手技を習得する。
 - * 1) 神経放射線検査(CT、MRI、SPECT)
 - * 2) 神経生理学的検査(脳波、神経伝導検査、筋電図)
 - * 3) 神経病理学的検査(筋生検、神経生検、脳の剖検)
 - 4) 腰椎穿刺
 - 5) 自律神経機能検査
 - 6) 神経疾患の遺伝子診断(適応と倫理)
 - * (6) 救急処置を要する神経疾患を把握し、それぞれの対応を理解する。

* (7) 主な神経疾患の治療法について習熟する。

- 1) 脳血管障害急性期
- 2) 脳血管障害慢性期のリハビリテーションと再発予防
- 3) パーキンソン病などの錐体外路系疾患
- 4) 脊髄小脳変性症などの変性疾患
- 5) 多発性硬化症などの脱髄疾患
- 6) 重症筋無力症などの自己免疫疾患
- 7) 髄膜炎・脳炎などの感染症
- 8) 頭痛・てんかん

特に留意すべき注意事項:

1. 神経学的診察法を実地し、神経解剖学的に障害されている部位を指摘できるようにするため、神経解剖学と出現症候の関連について修得する。
2. 筋萎縮性側索硬化症(ALS)を含めた変性疾患患者については、主治医の病名告知前に患者さんに病名が伝わらないように配慮する。
3. 痴呆性疾患症例については、患者さんを同席させて家族から病歴聴取をする場合、患者さのプライドを傷つけないように配慮をする。

第5学年臨床実習スケジュール[神経内科・老年科学]

[第1週]

指導医師名：①寺山靖夫教授 ②米澤久司准教授 ③石橋靖宏講師 ④工藤雅子講師 ⑤金正門講師 ⑥大庭英樹講師 ⑦大塚千久美講師 ⑧水野昌宣助教
 ⑨紺野可奈子助教 ⑩鈴木真紗子助教 ⑪大浦一雅助教 ⑫齋藤あゆみ助教 ⑬高橋純子助教 ⑭鳴海新介助教 ⑮大浦真央助教 ⑯加藤可奈子助教
 ⑰藤澤豊助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション・初日試験	病棟実習	チャートラウンド、カルテ回診	病棟実習・神経放射線セミナー
[場 所]	[中 6 ゼミ室]	[中 6 病棟]	[中 6 ゼミ室]	[中 6 ゼミ室]
[指導医]	⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰
火	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
[場 所]	[中 6 病棟]	[中 6 病棟]	[中 6 病棟]	[中 6 病棟]
[指導医]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰
水	グループ回診	病棟実習	治療セミナー、ジャーナルクラブ、総 回診、医局会	脳卒中セミナー
[場 所]	[中 6 病棟]	[中 6 病棟]	[中 6 病棟、中 6 ゼミ室]	[中 6 ゼミ室]
[指導医]	⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	⑤
木	外来実習 or 病棟実習	外来実習 or 病棟実習	病棟実習	機能性疾患セミナー
[場 所]	[神経内科・老年科外来、中 6 病棟]	[神経内科・老年科外来、中病 6 棟]	[中 6 病棟]	[中 6 ゼミ室]
[指導医]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	④
金	病棟実習 or 頸部血管エコー検査	病棟実習 or 頸部血管エコー検査	末梢神経・筋疾患セミナー	病棟実習
[場 所]	[神経内科外来、中 6 ゼミ室]	[神経内科外来、中 6 ゼミ室]		[中 6 病棟]
[指導医]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	[中 6 病棟] ⑧	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰

[第2週]

指導医師名：①寺山靖夫教授 ②米澤久司准教授 ③石橋靖宏講師 ④工藤雅子講師 ⑤金正門講師 ⑥大庭英樹講師 ⑦大塚千久美講師 ⑧水野昌宣助教
 ⑨紺野可奈子助教 ⑩鈴木真紗子助教 ⑪大浦一雅助教 ⑫齋藤あゆみ助教 ⑬高橋純子助教 ⑭鳴海新介助教 ⑮大浦真央助教 ⑯加藤可奈子助教
 ⑰藤澤豊助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	グループ回診 [場 所] [中 6 病棟] [指導医] ⑯	外来実習 [神経内科・老年科外来] ⑥	チャートラウンド、カルテ回診 [中 6 ゼミ室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	認知症セミナー [中 6 ゼミ室] ⑬
火	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	神経診断セミナー [教授室] ①
水	錐体外路セミナー、グループ回診 [場 所] [中 6 病棟、中 6 ゼミ室] [指導医] ⑦⑨	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	治療セミナー、総回診、医局会 [中 6 病棟、中 6 ゼミ室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	アテローム血栓症について [中 6 ゼミ室] ⑥
木	外来実習 or 病棟実習 [神経内科・老年科外来、中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	外来実習 or 病棟実習 [神経内科・老年科外来、中病 6 棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	電気生理&血管造影セミナー [中 6 ゼミ室] ③	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰
金	病棟実習 or 頸部血管エコー検査 [神経内科外来、中 6 ゼミ室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	病棟実習 or 頸部血管エコー検査 [神経内科外来、中 6 ゼミ室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	総括・最終日試験 [中 6 ゼミ室] ⑩	病棟実習 [中 6 病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	人工呼吸器	2台	呼吸筋麻痺をきたす脳卒中、変性疾患、筋疾患、患者の呼吸管理
診断用機械	筋電計	1台	神経筋疾患の診断、筋電図、神経伝達速度の測定
診断用機械	ディスカッション顕微鏡	1台	中枢神経、神経、筋からの採取標本の病理組織診断
診断用機械	心電図 R-R 間隔測定装置	1台	変性疾患の自律神経機能の測定
診断用機械	SEPCT 測定装置	1台	脳循環障害、痴呆患者の脳血流測定
診断用機械	24 時間連続モニター血圧計 (ABPM)	3台	脳血管障害、痴呆疾患の血圧変動のモニタリング
診断用機械	眼底鏡	3台	中枢神経疾患における眼底検査
診断用機械	経頭蓋超音波ドプラー (TCD) 血流測定装置	1台	脳血流速度の測定、脳血流波形の解析
診断用機械	磁気刺激装置	1台	神経伝達速度の測定
視聴覚用機械	液晶テレビ (TH-32LX30)	1台	臨床実習におけるビデオ供覧
その他	AQUZ デスクタイプ式 (C3-6277KGR)	1組	臨床実習における討論会
視聴覚用機械	ノートパソコン式 (iBookG4)	1台	講義、症例検討用
視聴覚用機械	ノートパソコン式 (PowerBookG4)	1台	講義、症例検討用
視聴覚用機械	ハイコントラストマット (VORS-100HC)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	インバーター式シャウカステン壁掛型 ORS-H621-F(409-028-51)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	スクリーン (DF-210E)	1台	〃
視聴覚用機械	ノートパソコン式 (VGN-GIABS)	1台	講義用スライド作成
視聴覚用機械	ノートパソコン式 (VGN-FE53BW)	1台	〃

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 出席点: 20 点
2. 実習評価 1 (教員による学生評価シート I): 10 点
3. 実習評価 2 (教員による学生評価シート II、症例発表、レポート提出等による総合的な評価): 20 点
4. 実習初日試験: 25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問: 25 点